

江古田小校長室便り 「温故創新」

H29 (2017)・0823 NO23

校長 伊波喜一

自らの 五体をフルに 使いなん 創造の芽を 伸ばす秘訣ぞ

アドビシステムズ社が日本の12～18歳の生徒2521人、教師1016人に「創造性」について聞いた調査の結果が出ました。日本と世界とを比べると、随分違ってきます。質問1「自分を創造的だと思う」(生徒への質問)：日本8%、世界44%、質問2「将来、仕事で何らかの創作に関わっていると思う」(生徒)：日本43%、世界78%、質問3「創造性が求められる仕事はたくさんある」(生徒)：日本31%、世界76%、質問4「自分の生徒を創造的であると思う」(教師への質問)：日本2%、世界27%等です。それにしても、日本は生徒も教師も創造力に対しての評価が低すぎます。

筆者の小学校時代に手先の器用な子がいました。肥後の守(ナイフの名前：当時は鉛筆削り用として各自持っていた)一本持たせれば、木切れからどんな物でも作りました。彼は勉強はそこそこでしたが、抜群の想像力と創造力がありました。私達は敬愛を込め、彼のことを「天才」と呼んでいました。想像と創造は仲が良く、適度なあそびとゆとりを好むという点でも、似通っているのです。